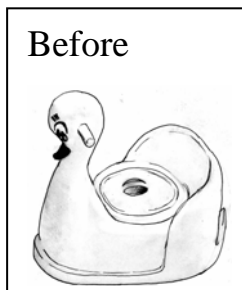
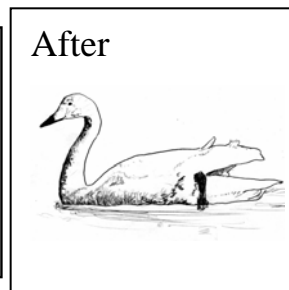


幸せになるための絵画教室

主催：川上和人・川口敏・梶田学・藤田祐樹・山崎剛史・江田真毅・臼田隆行



スケッチ，図表，挿絵。
研究者に絵の技術は必須！



処方箋 1 「画匠」平岡考 「鳥」を描く

対象を上手に描く方法は、よく観察することに尽きるので、「〇〇の描き方」といった本のタイトルなどは、しばしば邪道な響きがする。しかし、実際にはこれを知っていれば鳥が描きやすいというコツのようなものは存在するようだ。講演では、鳥の骨格など体の仕組みからこのコツを探る。（山階鳥研研究員：世界鳥名事典（三省堂）、鳥類学辞典（昭和堂）等にイラスト執筆）

処方箋 2 「画聖」箕輪義隆 「標本」を描く

「動きの激しい鳥類を描くのは難しい」と言われる。では、標本なら簡単に描くことができるのだろうか？ 嘴や脚などの部位は変形しにくく描きやすいが、手作業で描く以上、寸法の狂いや形の歪みは避けられない。これらを極力抑え、より実物に近づくにはどうすれば良いか、手法の一例を紹介する。（鳥類を中心に描くイラストレーター。2006年11月末に原宿で個展開催決定）

処方箋 3 「画狂」川口敏 「挿絵」を描く

挿絵は正確で大量に、なおかつ見栄えの良さが求められる。それに応えるには徹底した合理化しかない。講演では、実際に使用された挿し絵を徹底解剖！ 高画質・大量生産の秘密が暴かれる。（挿絵も自作の「死物学の観察ノート」（PHP 研究所）でデビュー。初刷 1 万 5 千部完売御礼）

集まれへたっぴ！

参加資格：へたっぴ ● 内容：講義（45 分）← 実習（60 分）← 講評（15 分） ● 募集人数：30 名 ● 先行予約（15 名）：kazzto@fpri.affrc.go.jp（9 月 10 日まで受付） ● 当日受付（15 名）：川上（派手な格好をしています）を見つけて登録 ● 顔がばれたくない人はマスク着用可 ● 秘密厳守

同時開催(予定)：幸せになるための原画展